

## 一般質問

お知らせ

議員の質問については、本人の意思を尊重し、掲載しています。



宇佐美 みやこ 議員

質問1

### 大野町の生涯学習について（一問一答）

- ①大野町の生涯学習の位置づけや意義、生涯学習を通して、何を目指し、求めておられるのかについて
- ②大野町の生涯学習をさらに活性化し、『人づくり』を図りながら、地域のコミュニティづくりや地域課題解決に活かす仕組みづくりについて
- ③利用料支払システムのデジタル化と公共施設予約システムの改善・改修に向けて

答弁  
(教育長)

- ①一人ひとりの人生をより豊かで充実したものにする目的に、総合町民センターやふれあいセンターを活用し、幅広い学習の機会を提供しています。今後もより充実した学習環境づくりを進め、「みんなで学び合い、誰もが活躍できるまち」の実現を目指して取り組んでまいります。
- ②誰もが主体的に参加し交流できる拠点「ふれあいセンター」を中心とした生涯学習活動や各種イベントを通して、地域コミュニティの仕組みづくりを促進し、地域の人材の発掘や育成を図ってまいります。そして、住民同士が支え合い助け合う持続可能な地域社会の構築のため、地域の課題解決に結びつくよう引き続き住民と共に努めてまいります。
- ③令和9年度システム更新の際には、利用者の利便性向上や窓口業務の効率化を図る観点から、いただいたご意見を参考にしつつ、システム更新にかかる導入・維持コストを精査した上で、支払システムを含めた予約システムの導入を検討してまいります。

質問2

学校における、保護者等の経済的な負担を軽減させるための取組について（一問一答）

- ①大野町の実施している学校における、保護者等の経済的な負担軽減の取組の現状について
- ②子育て支援の観点からも補助教材（算数セット・彫刻刀・裁縫道具等）を学校の備品とし、保護者の負担軽減を図ることへの方針について

答弁  
(教育長)

①就学準備への経済的な負担軽減を図るために入学準備祝金、物価高騰分に対する給食費の補填、家庭学習のための学習通信環境整備補助金、自転車損害賠償保険加入補助金などを実施しています。また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者への就学奨励費なども実施しており、令和7年度においては、4,993万円程を負担軽減として実施しています。

②学用品等の備品などについては、みんなで創る学校づくりプロジェクトの過程において、学校管理で良いもの、家庭でも使用するものの仕分けを行い、保護者等の経済的な負担軽減を検討してまいります。現在本町は、令和7年10月に策定した大野町財政健全化プラン、また、大野町学校規模適正化基本方針による義務教育学校の設置に向けて、実現可能で持続可能な行財政基盤の構築を進め、国の施策が定まった後、町の財政を鑑みながら、適切な施策を講じてまいります。

.....

質問1

カーボンニュートラルを目指して（一問一答）

本年第1回定例会にてゼロカーボンシティについて質問したことについての経過質疑として、実行計画の取組施業150ヘクタール及び町有林約4.5ヘクタールの調査結果について

ひろせ 一彦 議員

答弁  
(建設部長)

今年度は、私有林の1haに対して現況調査を実施予定であり、調査に向けた準備を進めています。調査結果により、間伐などの施業が必要な箇所を明確にして、土地所有者と協議を行い、施業を行ってまいります。

町有林のうち、糸の森以外の未整備の部分も調査が進んでおりませんが、森林環境譲与税を活用することが可能で、整備効果が高い、私有林の過密林を優先的に現地調査を実施していますので、私有林の調査ののち、町有林の調査を実施してまいります。

質問2

婚姻届記入例見直しについて（一問一答）

「婚姻届記入例」即ち婚姻後の夫婦の氏について

答弁  
(民生部長)

近年は氏の選択や世帯構成など、家族のあり方が多様化しており、性別による偏見や固定的な価値観を是正する観点からも、今後、婚姻届における婚姻後の夫婦の氏の欄の記入例には、夫・妻のいずれの氏にもチェックを付けず、注意書きで説明するよう見直しを行ってまいります。

質問3

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の使途について（一問一答）

生活費の負担軽減のために水道基本料金の無償化について

**答弁  
(町長)**

物価高騰対策として、これまで実施した支援事業は様々あり、今年度は低所得世帯支援、定額減税補足給付金（不足額給付等）支援、認定こども園等給食費無償化、学校給食費物価高騰支援に取り組んでいます。

国から交付額が示された際に早急に対応できるよう、水道基本料金無償化も施策の1つとして検討を進めてまいります。



宇野 等 議員

**質問1**

### 財政状況について（一問一答）

今後5年間の町の財政状況は厳しいと認識しているが、人件費や社会保障関係経費の増に加え、新事業への起債等を行えば、かつてない厳しい局面を迎えるのではないか。こうした財政悪化が見込まれることに対して、町はどのように分析し、対応していくのか、また、今年度スタートした第七次総合計画への影響はあるのかお伺い致します。

**答弁  
(町長)**

企業進出に伴う固定資産税の増収が見込まれる一方、地方交付税の減収、歳出では企業進出に伴う工場等設置等奨励金、西濃厚生病院への補助金などにより、令和8年度以降の5年間で約30億円の歳出超過（赤字）を見込んでいます。

そのため、基金の運用や起債の発行に基準を設け、また、歳出予算の削減を図り、第七次総合計画を推進するため町が行うべき施策について、政策的な優先順位をつけ来年度以降の予算に反映してまいります。

**質問2**

### 行政改革について（一問一答）

推進状況と今後の改革計画案についてお伺い致します。

**答弁  
(町長)**

町民の視点に立った、より質の高い行政サービスの提供を目指し、人材・資産等の経営資源の有効活用、自主財源の積極的な確保等による効率的な行財政運営、行政のデジタル化による住民の利便性の向上等に取り組んでいます。

今後5年間の町独自の「財政健全化プラン」に基づき、財政運営基準を遵守し、歳出抑制を図りながら健全な財政を維持するため、全庁規模での歳出予算の徹底した見直しを行い、厳しく踏み込んだ経費の節減・合理化を実施してまいります。また、町税等の収入率向上に向けた債権確保の強化、町有財産の有効活用や広告収入など新たな財源の確保に取り組むとともに、公共料金の見直しなど受益者負担の適正化を図ってまいります。

**質問3**

### 「柿とバラのまち」大野町について（一問一答）

①柿は岐阜県の特産物であります。その中でも断然トップで大野町はその中心生産地であるが、柿農家が高齢化し、担い手がいなくなってきて、この宣言とは異なる方向に向いてますが、この現状と今後の対策についてお伺い致します。

②その中でも農林水産業費の内の農業振興費についてお伺い致します。

**答弁①  
(建設部長)**

今年度から新たなシステム構築に向けて「研修センター設立」、「受託システム」、「情報発信（SNS等）」、「販路拡大」について、大野町かき振興会、JAいび川、揖斐農林事務所と協力し、かき振興における現状の課題把握や、他地域の先進事例などの情報共有及び意見交換を実施し検討を進めています。

今後は、受委託希望者のリスト化、マッチング作業のための柿農園マップの作成を行い、柿研修制度や受委託体制の再構築に向けて取り組んでまいります。

# ◆議会の窓◆

答弁②  
(町長)

柿研修センターのシステム構築に向けて、関係機関と連携して取り組むとともに、予算の拡充や新たな補助についても検討してまいります。



長沼 健治郎 議員

質問

## 災害時に備え町道黒野北野畠線（名鉄廃線敷旧谷汲線）の道路機能を活かしそれを有効活用する方策について（一括質問一括答弁）

大分市佐賀関の大規模火災を踏まえ町道黒野北野畠線の自転車、歩行者道としての整備は大野小学校辺り迄ですが、この沿線沿いは他地区と比較し比較的人口密集地区であり災害が懸念される中、この道路機能を活かしそれを活用した避難誘導マニュアル作成や防災訓練等を実施し道路の有効活用の方策を図ったらどうかお伺いいたします。

答弁

(危機管理監)

名鉄廃線敷は、災害時の避難路として利用できるよう様々な機能を持つ道路として整備されており、その進捗に合わせ評価・整理、周知をする必要があると考えています。

今年度末を目標に、町の災害対策に関する総合的な計画である大野町地域防災計画へ、道路機能を活かした避難誘導等に関して適切に反映し、町防災訓練等では災害時を想定した指定避難所等へのルート確認を行うなど、今後も地域や消防機関等との連携のもと、名鉄廃線敷の活用方策の検討や、防災訓練等を通じて地域防災力の向上を図ってまいります。

再質問

Q 避難者や緊急車両などが通行できるよう、緊急時に交差点ごとの車止めの鍵を解錠し、除去する等の管理手順マニュアルはあるか、また、揖斐郡消防組合との情報共有はできているかお伺いします。

A 車止めの鍵については道路管理者である町、町防災担当である総務課、当該地区的区長、揖斐郡消防組合において保管しています。また解錠の手順を含めた管理マニュアルについては、地域防災計画へ反映させた後、必要に応じ策定を検討してまいります。



久保田 かずしげ 議員

質問 1

## 鳥獣被害の一つとなるガバメントハンターの育成について（一括質問一括答弁）

農林・環境問題である鳥獣被害が、昨今、熊が人を襲う事案の発生から、これを災害と捉え、対応策の一つとなるガバメントハンターの育成について

答弁  
(建設部長)

クマによる人的被害が全国で多発する中、目撃情報の通報体制の強化、町民への注意喚起、防護柵や捕獲オリの設置等を行っています。また、町長の判断で銃器を使用した捕獲を行う際の「緊急銃猟マニュアル」の整備について、揖斐警察署や揖斐郡獣友会などの関係機関や郡内3町で協議を行い、令和8年4月からの運用開始を目指してまいります。あわせて、クマに対応可能なヘルメットやプロテクター、盾などの装備を導入予定です。

ガバメントハンター（※1）の育成・導入については、国や県、他市町の動向を注視しながら、関係機関との協議を早急に始めてまいります。

## 質問2

## 第七次総合計画に掲げるゼロカーボンシティについて（一括質問一括答弁）

ゼロカーボンシティを目指す町に掲げる次世代自動車の導入について

**答弁  
(総務部長)**

電気自動車用急速充電器について、今年度は、道の駅パレットピアおおのへ 2 基設置し運用を開始し、さらに庁舎西側に 1 基設置する予定です。今後は、より多くの方に利用していただけるよう周知・啓発に努めてまいります。

公用車の次世代自動車への更新については、導入コスト、V2H（※2）に対応した車種の導入等も考慮しながら、二酸化炭素排出量削減に向けて取り組んでまいります。

## 再質問

**Q** 次世代自動車の今後5年間の導入計画についてお伺いします。**A** 現在のところ具体的な計画はありませんが、車両の状態を踏まえ、更新の際にはゼロカーボンシティの実現に向けて次世代自動車の導入を検討してまいります。

※1 猥鈍資格を持ちクマなど野生鳥獣の捕獲・管理にあたる自治体職員

※2 EV（電気自動車）用の充給電システムのことで、EV（電気自動車）に蓄電した電力を自宅においても活用できるシステム。家庭用の電気自動車等への充電、また、反対に電気自動車から住宅等へ給電ができる。

